

19biji 第 1 3 号

平成 19 年 4 月 20 日

各郡市医師会長 殿



ビジランティア経営コンサルタント

鹿毛行政書士事務所

所長 行政書士 鹿毛 ^{かげ} 哲也



フィリピン人実習生の受け入れについて

謹啓 春暖の候、貴職には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成12年に介護保険制度が施行されたことにより在宅医療の推進、及び各地での介護施設等の設立に伴い、医療・介護施設面での看護資格者等の不足が問題視されています。この問題を解消する方法の一つとして、標記実習生の受け入れ事業の試みが行われていることは報道機関等を通じて既にご承知のことと存じます。

つきましては、別紙資料を同封させていただきますので、貴医師会の会員の方々へのご周知方についてご検討下さるよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 問い合わせ先 福岡県朝倉市馬田1118-1

電話番号 0946-22-2734 (代表電話) FAX0946-24-6550

[Mailto:banbi_ceo@ybb.ne.jp](mailto:banbi_ceo@ybb.ne.jp)

担当 鹿毛 哲也

—We Are Asian—

フィリピン人医療（介護）従事者と働 きませんか？



世界的にも能力が評価されている
フィリピン人看護師

ビジランティア経営コンサルタント
(TEL 090-3075-1108)

2007/4/5

自己紹介

ビジランティア経営コンサルタント代表 鹿毛哲也

- 有限会社鹿毛運輸 社長
介護事業部である「にこにこ介護サービス」所長も兼務
- NPO法人にこにこプラットホーム 理事長
- ビジランティア経営コンサルタント 代表
- 鹿毛行政書士事務所 所長
- 1963年生まれ。平成14年3月、甘木市役所を辞職。その後、介護移送サービスの立ち上げなどに従事。
- 平成15年3月より片岡勝氏に師事し、社会変革の担い手となるため、コミュニティビジネスに関わる。
- 平成16年5月、NPO法人にこにこプラットホームを設立。運送業や訪問介護事業所の経営を行いながら社会貢献したい人を支援する活動を行う。平成16年11月、ビジランティア経営コンサルタントを設立。
- 平成18年2月 鹿毛行政書士事務所を設立
- 平成18年8月 東南アジアでのもったいない運送の普及活動開始
- 平成18年9月 GNH-JAPAN.NETの事務局就任
- 平成18年9月 地元の甘木アーケードの活性化委員就任

ビジランティア経営コンサルタント
(TEL090-3075-1108)

2007/4/5

はじめに

• FTA自由貿易協定 (Free Trade Agreement)の動き

2006年9月、日本とフィリピンの間で経済連携協定 (EPA) が締結されました。この協定の中に、「フィリピン人看護師や介護福祉士の受け入れ」が盛り込まれ、2年間で1000人(看護師400人、介護福祉士600人)の受け入れが現在進行中です。

受け入れるフィリピン人は、自国(フィリピン)で看護師資格取得者、介護士研修修了者です。

看護師は3年間、介護福祉士は4年間の在留期間を認め、その間に日本語や実務研修を受けた後、日本の看護師や介護福祉士の国家資格取得を目指します。日本の国家資格が取得できた時は、在留期間の延長が無期限に認められます。

注: 詳細は変更の可能性あり

私たちの取り組み

- にこにこ介護サービスでフィリピン人ナースの受け入れ
- **NPO法人にこにこプラットホーム**でリサイクル乾電池販売
- // 福祉有償運送8条申請陳情活動(旧甘木市)
- // 機関紙の発行
- 有限会社鹿毛運輸でもったいない運送・週末クラブを実施・・理事長が社長の有限会社鹿毛運輸での企業内起業で発足。**NPO法人にこにこプラットホーム**は経営者育成の面で支援・助言を行う
- フィリピンでの現地調査(2007. 1月)



マニラ市街の街並み

2007/4/5

ビジランティア経営コンサルタント
(TEL090-3075-1108)

今までの看護師に対する我々の実績



男性を車に乗せるナブラさん(左)とカルデナスさん=筑前町で

比の看護師2人 介護現場を体験

朝倉など県内数カ所で

日本での就労を目指す
ているフィリピン人看護
師2人が3日、朝倉市内
の介護サービス事業所を
訪れ、介護の現場を体験
した。両国政府は9月、
フィリピン人看護師、介
護福祉士の日本国内受け
入れに合意し、来年4月
から労働市場が開放され
るため、看護師と福祉の
現場の双方に、互いを理
解し合ってもらおうとい
う試み。

フィアトレード推進団
体「第3世界ショップ基
金」(本部・東京と、日
本語学校、病院が連携し
て行っている研修プロ
ラムの一環。フィリピン
で日本語教育を受けた看
護師約40人から選ばれ
た4人が、今年4月に来
日。大阪市内の日本語学
校で勉強しながら、奈良
県天理市内の病院で就学
ビザの獲得内で看護師補
助の研修を受けている。

県内での研修は、看護
師に地方都市の現状を知
ってもらう目的で、2日
に始まった。ともに4年
の看護師経験がある、ド
ナベル・カルデナスさん
(29)とエミリー・ラウダ
ット・ナブラさん(34)が
参加。3日は、朝倉市馬
田の「にこにこ介護サ
ビス」(廣毛哲也社長)
で、民間救急車に設置さ
れた車いす用リフトの操
作などを学んだ。

午後からは、筑前町中
牟田の高齢者宅を訪れ、
近くの病院に通院する男
性(94)を玄関で車いすに
移し、車に乗せる作業を
体験した。2人は6日ま
で、県内数カ所の老人介
護施設などでこうした研
修を重ねる。

カルデナスさんは「私
たちが日本で成功すれ
ば、多くのフィリピン人
看護師に道が開けるので
頑張っています」と話し
ていた。

- 2006年10月 福岡県朝倉市で、二人の看護師を受け入れ、介護・看護研修を行いました。(我々は、去年の早い時期から現地のスタッフとともに準備を行いました。)

・注: 姉妹施設にここに介護サービスで受け入れ

- マスコミからの評価・・・HNKテレビや、西日本新聞、朝日新聞、読売新聞から、取材を受け大々的に記事として取り上げられました！

ビジランティア経営コンサルタント
(Tel 090-3075-1108)

フィリピンでの動きと日本への呼び込み例

・ フィリピンでの現状説明

我々はフィリピンで、大学と組み優秀な人材を日本へ実習参加させるように交渉してきました。また、日本語学科の創設にも力を注いでいます。現地のトラブル処理も現地スタッフが対応いたします。



二つの大学での打合せ風景



2つのステップがあります！！

第1ステップ・・まずは、就学ビザ・留学ビザで、2年間日本語学校や大学に通いながら、日本語2級取得を目指し勉強します。授業の無い時間帯は、入国管理局から資格外活動許可を受け、病院などで勤務するものです。(就学ビザ1日4時間可能 留学ビザ週28時間 夏休み等休日は8時間)

第2ステップ・・技能ビザ(予定)で、看護師3年、介護士4年の許可期間中に、日本語の習得も目指し、それぞれ看護師・介護福祉士の資格取得をするもので、受け入れは国際厚生事業団が一括で行います。

ビジランティア経営コンサルタント
(Tel 090-3075-1108)

2007/4/5

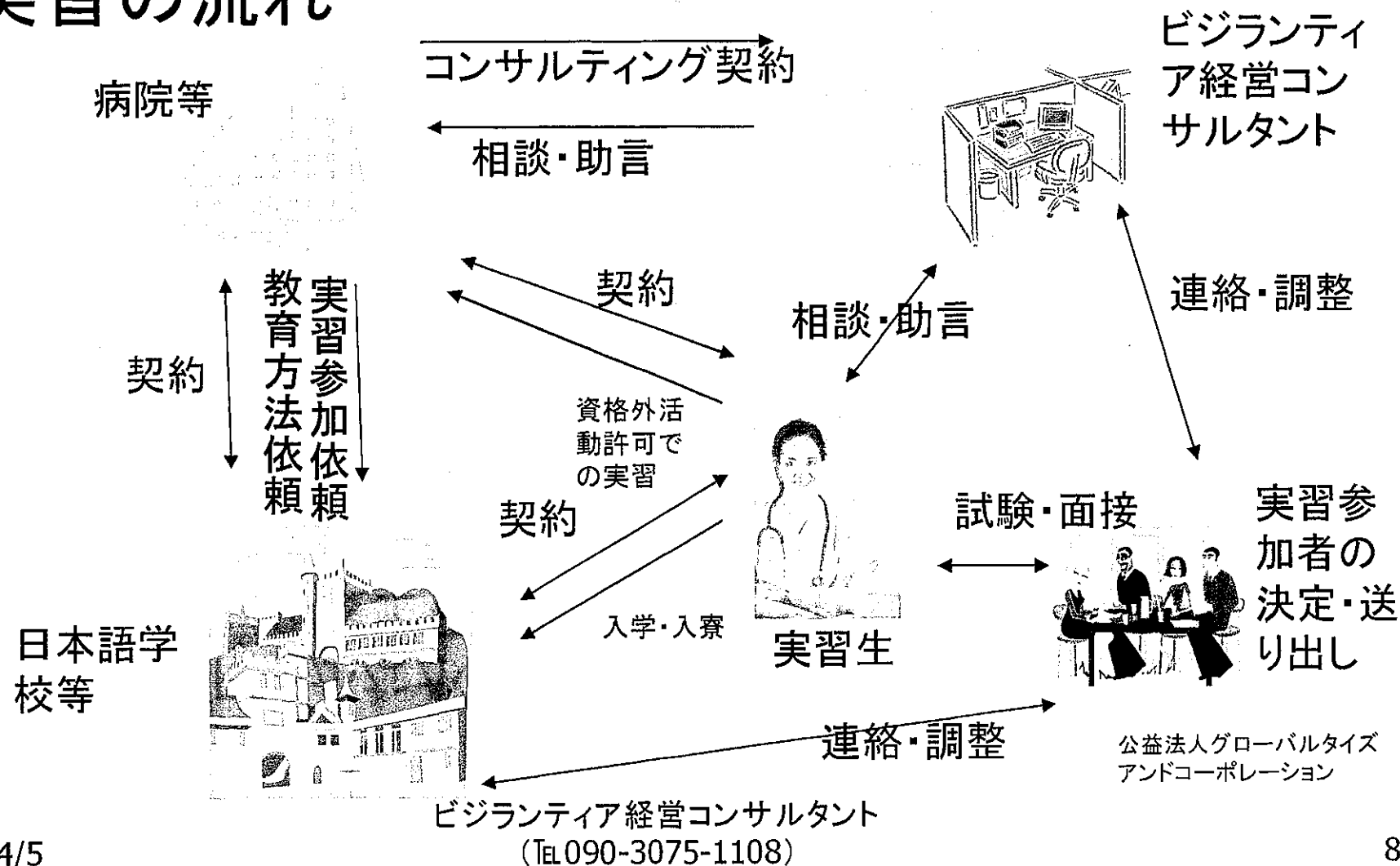
6

我々は留学・就学ビザでの支援を推進します

- 我々は、FTAがなかなか進まない中、日本の医療現場での看護師・介護士不足にいち早く対応し、日本の国民が看護・介護難民になるのを防ぎ、幸せに暮らすことができる社会の構築を目指しています。
- 1. 日本側の受け入れ日本語学校と提携し、受け入れの準備と、日本語2級取得研修カリキュラムで、長期の受け入れに対する不安を取り除けます。
- 2. 労働者側も(フィリピン側も)、日本での受け入れが、受け入れの話し合いのとおりかどうか？生活に不具合がないかどうか？確認するとともに、日本を好きになり、また日本に来たいと感じるように、決め細やかなアフターサービスを実施します。(例えば、キリスト教会の紹介、生活相談、トラブル処理)



日本へどのような仕組みで呼べるのか？ (留学・就学ビザ実習方式) 実習の流れ

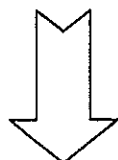


日本滞在時の経費及び支弁内訳

来日渡航費用・・・80,000
2年間の学費・・・1,600,000
来日当初4ヶ月の生活費・・・280,000
来日当初3ヶ月の寮費・・・90,000
国民健康保険2年分・・・30,000
通学経費・・・300,000
合計 2,530,000(2年間)

※上記はあくまで目安です。若干の変更あり

が、しかし



上記の費用のうち、1,600,000(1年800,000円)を研究調査費として、病院側から日本語学校側へ支払う。日本語学校は、上記の費用一覧のすべての経費を賄う。
実習生は、五ヶ月目以降はインターンシップの収入により、生活経費に当てる。(寮で1月8から14万円程度・・・夏休み等は除く)

※別途コンサルティング料が必要になります。



公益法人グローバルタイズ
アンドコーポレーション事務所
のあるビル(マニラ市内)

主な利点

- FTAを待つことなく、独自で受け入れの計画が立ちます。
(平成19年2月現在、厚生労働省は、2007年度中は無理だろうといっています。早くて2008年4月といっています。これも延期の可能性が大です。)
- 本人や病院側が望めば、延長も視野に入れ就労することも可能です。
- 安定的に、人員の確保が望めます。
- チーム医療を知っていて非常に優秀です。
- 雇用保険などの加入の必要がありません。
- 入管法の手続きができる行政書士なので、入管トラブルに対し早急に対処できます。

222006200048

届出済証明書



(福)行 第06-48号
氏名 鹿毛 哲也
1963年6月6日生

所属会名 福岡県行政書士会

上記の者は、入管法施行規則の規定に基づき届出を行った弁護士・行政書士であることを証明する。

平成18年6月15日(平成21年6月末日まで有効)

福岡入国管理局長

高山 泰

印

ビジランティア経営コンサルタント
(Tel 090-3075-1108)

2007/4/5

主な欠点

- 実習生が、日本になじめずトラブルを起こし帰国することになる可能性があります。
(補助金返還方式あり)
- 日本語学校の入学の関係や、ビザの取得の関係から、すぐの受け入れはできません
- 言葉の壁があり、慣れるのに少し時間がかかります。

大学での授業風景



ビジランティア経営コンサルタント
(Tel.090-3075-1108)

最後に

- 日本語学校の入学の関係上、4月と10月の受け入れになります。ビザの取得等4から6ヶ月以上前から準備が必要です。
- フィリピンでは、150時間の基礎日本語を勉強の後に入国します。
- 日本語教育の必要もあまりないと判断される方を受け入れる場合は、看護学校の試験を受けさせ、資格外活動許可をもらい、医療機関などで、指定時間内(短時間)就労するということも可能です。

※いずれにせよ、別途契約が必要です。

- 日本の日本語学校で、日本語2級検定を受け実習の後帰国し、再度FTAに申し込み、実習先に来れるように運動をしていきたいと考えています。

以上
ご清聴ありがとうございました。

アー

海外からの 専門職の受け入れの可能性

ビジランティア経営コンサルタント 鹿毛哲也

昨年からPA誌で、「We are Asian」をテーマに鹿毛さんからの海外レポートを紹介しています。今回は今年1月にフィリピンにFTA（自由貿易協定）による、フィリピン人看護師・介護士の受入れに関する調査に渡航しました。その報告を紹介いたします。

フィリピンは、今乾季で、昼間は非常に暑いのだが、夜は半そででは寒いくらいだ。フィリピン人の人柄は、非常におおらかでネアカとくる。貧しい地域に来ててもそう感じる。いろいろな人と話をして、この国のGNH（*国民総幸福）度は日本より高いのではと感じている。

今回コーディネートしてくれた、山内以前さんのことを少し紹介する。彼（山内さん）は、19歳の時から18年間フィリピンに住んでいる。奥さんはフィリピン人で子どももいる。仕事もやり手でいろんなビジネスをやっている。日本の投資家からの依頼で土地を買い、管理したり助言したり、店を預かり管理したり、今回は彼の作った公益法人を通して僕と、看護師を日本に派遣することをやっていく



パートナーの山内さん（右）

ことになりそうで、すごくいろんなビジネスをやっている人だ。人柄もおおらかで、僕とも波長が合い常に新しいことを見つけたいける人だと感じた。彼曰く、近い将来海辺に土地を買い、優雅にすごしたいとのこと。

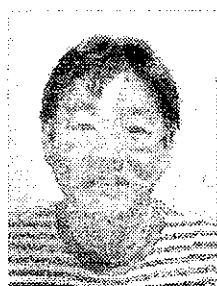
交通事情を説明すると、とにかく凄く渋滞で、なんか交通麻痺しているみたい。この状態はバン

コクに匹敵するくらいだ。そして、あちこちの主要なショップの前には必ず警備員がいる。ここも危険な国なんだろうと想像できる。インドもそうだったけど、この国も似ている感じがする。しかし、ひとつ路地を入るとまた違う世界がある。下町みたいなのんびりした雰囲気が広がっている。なんとも不思議な場所だ。

ただ政治家はとても真剣だと聞く。許認可権に利権が絡むので、昔から対立が激化し、家族も殺されたり、紛争が絶えず、最近でもよく知事などは殺されているそう。山内さん曰く「政治家の目は生きている」いい悪いは別として日本の政治家もこのくらい真剣にやる人が出てくると、社会も変わるのと思う今日この頃だ。

フィリピンでいくつかのヒントをもらった。アーケードの活性化につなげる方策だ。日本に帰りいろいろ研究してみようと思う。また、今回の主目的である、FTAに伴うフィリピン人看護師などの受け入れについても、フィリピンでの大学側との交渉に望み、一定の成果を得た。日本に帰り、早急に受け入れを進めていきたいし、宿題もいっぱいいただいた。また、フィリピンの看護師たちはマッサージもうまいことから、アーケードでマッサージ研修なども実施したらどうか？いろいろなことを組み合わせてアイデアをだし、実現可能にするために落とし込む作業をこれからどんどんやるつもりだ。

私は、片岡先生や家族などいろんな人のおかげで、海外を訪問することができていると感謝している。海外からいろんな視点で物事を見られるので、感性が非常に研ぎ澄まされてきた。もっともっと感性を磨き、物事の本質が見抜けるようにならないといけないと思う。



最近思うに日本の過疎化対策には、フィリピンやカンボジアなどアジアの国々の若い力が必要だと痛感する。アジアの地域と交流することで、創造性が高まり、新しい知恵が生まれ、実行力も増す。この循環が大事で、これをトータルにコーディネートする力も必要となる。私ももっともつと力をつけ、コーディネートしていくつもりだ。

例えばフィリピン人看護士受け入れにマイナス面を心配する人がいるが、「フィリピン人を受け入れないなら、ガソリンも輸入するな、サウジアラビアの油田はフィリピン人労働者が占めてい



世界的にも能力が評価されている
フィリピン人看護師

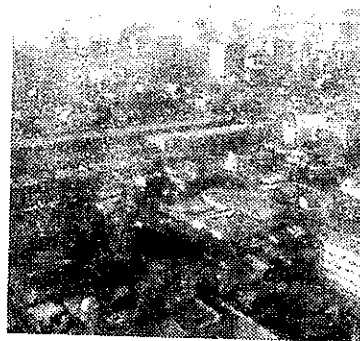
るのだから」とパートナーの山内さんは言う。日本人は自分の都合のいいことだけ賛成するな。こんなことを言っているみたいに感じて心が痛んだ。

さて日本だが、確実にここフィリピンでも影響力が落ちている。円安もあるが、パートナーの山内さんが、今中国人がこの国ですごく活躍していると説明してくれた。それは古くなった鉄道を買収し、新しく合弁会社を中国資本で作り、経営をしていくというものだ。日本も中国よりも最初にこの案件を手がけていたのだが、プアビブルの立ち退きに失敗し頓挫したところを、中国人グループが、政府の高級官僚と手を組み一犬キャンペーンを実施し、お金をばら撒き立ち退きをさせたということだ。やり方はどうあれ、昔の日本のお家芸が今では中国や韓国に先を越されていると感じた。カンボジアでも、シェムリアップで、韓国資本で万博が開催され、エイベックがベトナムのハノイで開催された後に、ノムヒョン大統領がシェムリアップ入りし、オープニングセレモニーの行事が大々的にテレビ放映されていた。私もその時プノンペンにいたが、プノンペンの町中に、歓迎の旗や韓国の国旗が飾られ、それはもうすごいというイメージだった。

上記で述べたように、東南アジアでは確実に日本の影響力が失速し、中国や韓国が台頭してきていることは事実だ。

ではこれから先、日本の向かうべき方向性は、どこにあるのかを考えてみた。これからの方向性は、GDPなどの総生産ではなく環境や安全に配慮し、一人ひとりの満足度を高めるための動きでリーダーシップをとっていくべきだ。その為にも、GNHの考え方や指標作りが必要だ。そして「We are Asian!」同じビジョンの仲間なんだ、という意識に変わることによって新しい未来が開けると感じている。

今回のフィリピン訪問で、日本に看護士・介護士が入ってくことで、フィリピン国内が、看護士や介護士不足に陥るとの懸念があり、山内さんに聞いてみた。山内さんいわく「フィリピンでは今、看護士・介護士のブームで、フィリピン国内でたくさんの予備軍が今勉強している。それと、フィリピンでは若い人たちがいっぱいいるのと、キリスト教国家の影響で、ボランティアの組織も充実してフィリピンでの心配はご無用とのことだった。」私はこの山内さんの言葉を聴き、安心して日本への派遣ができると確信したのは言うまでもない。



マニラ市街の街並み

* GNH(国民総幸福)

ブータンで生まれた「GNH(Gross National Happiness ~国民総幸福)」という考え方。

これまでの「GNP(Gross National Product ~国民総生産)」という考え方で豊かさを計るのではなく、国民がどれだけ幸せかで豊かさを計ろうというもの。GNH-ジャパンでは、GNHの普及に取り組んでいます。

参考ホームページ: <http://gnh-japan.net/>

現地取扱機関 公益法人グローバルタイズアンドコーポレーション
住所 RM. 309 Ltc Corporate Center (Formerly, Dona Generosa

BLDG.)

Edsa Cor Celle St. Pasay City, Philippines

電話 +6325561181
FAX +6325561182